

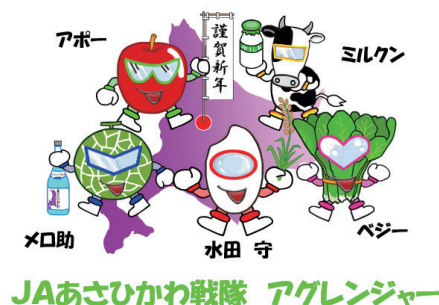
あさひかわ



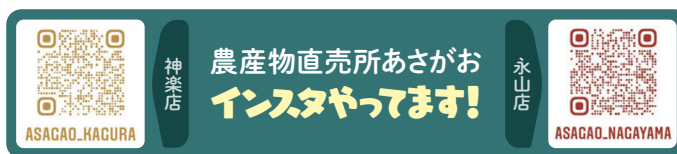
旭橋

特集 新春を迎えて

- ◆ JAあさひかわ女性部
1日バス研修を開催
- ◆ 年金友の会 温泉湯治
- ◆ インボイスについてよくある質問
- ◆ 理事会だより



JAあさひかわ戦隊 アグレncyヤー




期間限定



©よりぞう

お得な農業資金のご案内

対象期間：令和6年12月31日まで

JAフルスペックローン
(借換資金除く)

JA農業経営
ステップアップローン
(土地取得資金除く)

JA畜産等経営資金
(短期資金除く)

下記要件のすべてに
該当する案件

0

金利 ゼロ %

借入要件

- 対象商品 JAフルスペックローン(借換資金除く)
JA農業経営ステップアップローン(土地取得資金除く)
JA畜産等経営資金(短期資金除く)
- 対象期間 令和6年12月31日までの新規実行案件
- 借入期間 5年以内
- 借入金額 1,000千円以上10,000千円以内



問い合わせ先

- 旭正支所 ☎32-2231
- 永山支所 ☎48-2171
- 神楽支所 ☎61-4111
- 神尾支所 ☎61-4126
- 江丹別支所 ☎73-2111
- 北野支所 ☎87-2131

■ 原則、北海道農業信用基金協会の保証をご利用いただける方を対象とします。
保証料はお客様負担となります。(保証料率 年0.40%)

■ 同一人による申請は、各年度ごと1案件に限ります。
(年度は1月～12月です)



新春を迎えて

代表理事組合長 島山 守穂

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年は農協運営並びに事業推進に対してご理解とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの戦闘・スーダンやミャンマーでの武力衝突など世界各地で深刻な問題が相次いだ年でありました。全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつあります。しかし一方では、物価高や円安の影響により経済を取り巻く環境は厳しく、農業分野においては生産コストの高騰が続いており、先行きが不透明な情勢となっております。

さて、当農協の農産物の収量は、生育期間を通じて平年をかなり上回る高温が続いたため小麦・そばは平年を下回りました。又、基幹作物である水稲は、品質等に影響が出て厳しい作柄でしたが、その他の農産物については平年並みの収量となりました。今後は、高温に対する栽培管理を構築し、取り進めなければなりません。

昨年は第8次農業・農協中期3カ年計画の初年度であり、

JAあさひかわの営農ビジョン「クリーンあさひかわ」とし持続可能な環境にやさしい農業として「こめ」「米のブランド化」、「はたけ」「土地利用型転作物物のブランド化」、「さつまいも」「高収益転作物物の拡大」、「やさしいあさがお」「直売所向け出荷者の拡大をビジョンとし取り組みました。」

「さつまいも」は、各関係機関と連携しプロジェクトを立ち上げました。本年度も面積拡大を推進して行きます。

農協を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足等により農業生産基盤は縮小傾向に直面し、正組合員の減少とともに、組織基盤を揺るがされる事が無いよう、第8次農業・農協中期3カ年計画2年目は、経営改善計画の出資基準、自己資本増強を行ってまいりますので何卒主旨をご理解いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、組合員皆様方にとって実りある豊穡の一年となり素晴らしい年になりますことを心よりご祈念いたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 樽井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雪被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

現在、日本の食料自給率は38%しかありません。これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があります。行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年は、第31回JA北海道大会が開催されます。

また、第30回JA北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJA北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、JAグループ北海道統一の情報発信のリリースである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAグループが提唱する「国産国産」の認知を広めて参りましょう。結びになります。本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



JAあさひかわの
気になるニュース

JAあさひかわ青年部 職員との交流会を開催！

10月27日（金）、JAあさひかわ青年部と職員との交流会が開催されました。

この交流会は、日頃の農作業の疲れを癒やし、地区の枠を超えた部員間の親交を深めるとともに、職員との親睦を図ることを目的として、例年開催されています。

今年は新たな試みとして、例年行っていたボウリングではなく、ICTパーク（旧旭川国民劇場）を活用した、eスポーツ（タイトル：ボンバーマン）による交流会を行いました。

部員・職員合わせて42名の参加者が集い、山岸充典部長の開会挨拶の後、交流会が始まりました。8人1組のチームとなり、4人対4人の5チーム総当たり戦を行い、それぞれの勝ち数を競いました。限られた時間のなかではありましたが、大型スクリーンにより全員でプレイ画面を共有できたこともあり、会場一体で盛り上がりを見せ、一味違う部員と職員の一体感が得られました。

eスポーツ終了後は、懇親会場へと場所を移動し、会話に大いに花をさかせ、より親交を深め、盛会のうちに終了しました。



エビカニ祭を開催！

11月26日（日）、あさがお神楽店にて大場水産フェアが行われました！開店前から行列ができ、根室で水揚げされた新鮮な海の幸を多くのお客様にお買い求めいただきました。

新鮮な北海しまえび、花咲ガニなどが特価で販売され、大盛況となりました。

ご来店ありがとうございました！



新年挨拶

青年部部長 山岸充典

皆様、新年明けましておめでとうございます。日頃より組合員の皆様におかれましては、青年部活動に対しまして格別のご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、青年部員の皆様におかれましては、青年部活動へのご参加、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。本年も変わらず、青年部活動を通じて地域農業の発展に向け、より一層のお力添えをいただければと存じます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの影響により、数年に渡って自粛や規制をされてきたイベントなどが、徐々にではありますが回復してきました。それまでマスク着用が必須だった場面も、個人の判断となり、マスク着用が当たり前になってしまいうと、マスクをしないことへの抵抗すら感じるほど認識を改めてされました。

しかし、マスク着用が個人の判断となった反面、それまで大きな流行にならなかったインフルエンザが全国で猛威を振るい、多くの学校で学級閉鎖になるなど影響が出ました。昨年の青年部活動においては、7月にPR活動としてカムイスキリンクスで行われた「北海道ドリフトチャレンジ2023」に参加しました。道内最大級のドリフトイベントであり、多くの方々にJAあさひかわ青年部を見てもらえる機会になったと思います。

青年部ブースでは、ドン菓子とハスカップジュースの販売を行いました。農業高校の生徒たちにも参加してもらい、高校で生産した野菜の販売も一緒に行いました。また、（株）

北海道クボタ様にもご協力頂き、トラクターの試乗・記念撮影を行いました。子供連れの家族や若い世代など、普段農業機械に触れる機会が少ない方々にも、喜んでいただけたと思います。

そして、10月には農協職員との交流会を行いました。今回初めてeスポーツでの交流会を、旧国劇を改装したICTパークにて行いました。200インチを超える大画面でのプレイはとても迫力があり、大変盛り上がりました。初めての試みだったので、参加者に楽しんでもらえるか不安な面もありましたが、来てくれたみなさんの盛り上がりを見て安心しました。

現在は、農家戸数の減少と同様に、青年部員も年々減少しておりますが、そのような状況だからこそ、青年部員同士繋がりを持つことがとても大事なことであり、そんな中でもやれることを模索し、やっていきたいと考えています。

私たちの次の世代に引き継ぐためにはどうしたらいいのか、肥料高騰・水田活用の見直し・農業生産資材高騰など、課題は多いですが農家として生きていくため・未来に繋ぐために、稼げる農家・かっこいい農家を目指して青年部員みなで邁進していきたいと思っています。

結びとなりますが、諸先輩方や関係機関の皆様方には、ご指導、ご鞭撻のほどを賜りますようお願い申し上げます。皆様にとって実り多き年となることをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



新年挨拶

女性部部長 谷口佳代子

新年明けましておめでとうございます。令和6年ご家族お揃いで新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、日頃より女性部活動に多大なるご支援とご理解をいただき、心より感謝申し上げます。また、女性部役員、部員の皆様には、女性部活動にご参加をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年の夏は世界的にも猛暑で、農作物に良くも悪くも影響がありました。猛暑の中での農作業はひと際大変で、ご苦労されたことと思います。大変お疲れ様でした。

昨年、20周年を迎えた女性部です。新型コロナウイルスが5類に移行し、4年ぶりに全支所合同でのバス研修を開催することができました。エスコンフィールドの見学等を通して、マスク越しではありましたが、久しぶりに各支所の部員さんと顔を合わせ、嬉しく、充実した1日になりました。

コロナ禍から始めたフラワーハーモニー活動は、今年も部員、職員の皆様の協力の下でJAを訪れる方の癒しになったかと思えます。12月には、役員研修会で、農産物直売所がお職員との意見交換会を開催しました。今後、より良い店舗になるように女性部も協力していきたいと思っています。

女性セミナーの活動も活発に行っています。下国シェフによる料理講習会、バス研修会勉強会、陶芸教室等、今年度は7回の開催です。上川地区女性協議会の研修では、ほかし肥料作りのテーマでサカタのタネの高木さんの講演会等がありました。

青年部との合同事業のひとつ、「ご飯がすすむ農家めし」では、当JAが考案したレシビ「野菜たっぷり豚しゃぶと春雨のサラダ」は、JA上川ビルみはら食堂にて、7月中旬にふるまわれました。

管外研修東北北海道地区JA女性組織リタイフレミズ合同研修会では、総勢150名の参加がありました。家の光活用の体験発表では、農家の母ちゃんパワーはこの地区も熱かったです。講演では、介護保険社会保障制度の少し難しいお話も聞きました。

第56回JA北海道女性大会・北海道家の光大会では4地区から4名の体験発表があり、どの地区も部員減少が深刻でした。コロナ禍での活動等、工夫されていました。アトラクション担当の上川地区は、合同練習ができないうちま当日となりましたが、一丸となつての発表は大いに盛り上がりしました。

青年部と上川生産連とのコラボ企画で食育イベント、親子料理講習会も行われました。12月上旬、上川地区女性協議会創立70周年式典・女性部研修大会が開催され、歴代役員の表彰式が行われました。節目に貴重な体験ができ、更なる女性部の発展を願いました。午後からは、各単組の活動を動画にて報告しました。

まだまだ油断はできませんが、少しずつ日常が戻ってきました。JAを握りどころに、仲間との繋がりを大切に、様々な活動をしていきます。

最後になりましたが、本年も女性部活動へ御協力をお願いするとともに皆様のご健康と今年の豊稔を願い、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年ご家族お揃いで新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、日頃より女性部活動に多大なるご支援とご理解をいただき、心より感謝申し上げます。また、女性部役員、部員の皆様には、女性部活動にご参加をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年の夏は世界的にも猛暑で、農作物に良くも悪くも影響がありました。猛暑の中での農作業はひと際大変で、ご苦労されたことと思います。大変お疲れ様でした。

昨年、20周年を迎えた女性部です。新型コロナウイルスが5類に移行し、4年ぶりに全支所合同でのバス研修を開催することができました。エスコンフィールドの見学等を通して、マスク越しではありましたが、久しぶりに各支所の部員さんと顔を合わせ、嬉しく、充実した1日になりました。

コロナ禍から始めたフラワーハーモニー活動は、今年も部員、職員の皆様の協力の下でJAを訪れる方の癒しになったかと思えます。12月には、役員研修会で、農産物直売所がお職員との意見交換会を開催しました。今後、より良い店舗になるように女性部も協力していきたいと思っています。

女性セミナーの活動も活発に行っています。下国シェフによる料理講習会、バス研修会勉強会、陶芸教室等、今年度は7回の開催です。上川地区女性協議会の研修では、ほかし肥料作りのテーマでサカタのタネの高木さんの講演会等がありました。

青年部との合同事業のひとつ、「ご飯がすすむ農家めし」では、当JAが考案したレシビ「野菜たっぷり豚しゃぶと春雨のサラダ」は、JA上川ビルみはら食堂にて、7月中旬にふるまわれました。

管外研修東北北海道地区JA女性組織リタイフレミズ合同研修会では、総勢150名の参加がありました。家の光活用の体験発表では、農家の母ちゃんパワーはこの地区も熱かったです。講演では、介護保険社会保障制度の少し難しいお話も聞きました。

第56回JA北海道女性大会・北海道家の光大会では4地区から4名の体験発表があり、どの地区も部員減少が深刻でした。コロナ禍での活動等、工夫されていました。アトラクション担当の上川地区は、合同練習ができないうちま当日となりましたが、一丸となつての発表は大いに盛り上がりしました。

青年部と上川生産連とのコラボ企画で食育イベント、親子料理講習会も行われました。12月上旬、上川地区女性協議会創立70周年式典・女性部研修大会が開催され、歴代役員の表彰式が行われました。節目に貴重な体験ができ、更なる女性部の発展を願いました。午後からは、各単組の活動を動画にて報告しました。

まだまだ油断はできませんが、少しずつ日常が戻ってきました。JAを握りどころに、仲間との繋がりを大切に、様々な活動をしていきます。

最後になりましたが、本年も女性部活動へ御協力をお願いするとともに皆様のご健康と今年の豊稔を願い、新年の挨拶とさせていただきます。

神居基幹支所年金友の会 温泉湯治

神居基幹支所年金友の会（会長 佐藤勤、会員数78名）は11月16日（木）から18日（土）までの2泊3日の日程で層雲峡温泉ホテル大雪にて14名の参加により冬季温泉湯治を開催しました。

コロナ渦のため4年ぶりの開催とあって、待ち望んでいた会員も多数参加しました。

初日は宴会、二日目はバイキングと美味しい料理を堪能し、ゆっくりと温泉につかり日頃の疲れも十分に癒された温泉湯治になりました。

神楽年金同友会 温泉湯治

神楽年金同友会（会長上島由満・会員67名）は11月14日（火）から11月17日（金）の3泊4日で温泉湯治を行いました。（美瑛白金温泉ホテルパークヒルズ・参加者会員16名、員外3名計19名）

湯治期間中、各々温泉につかり疲れを癒したり、麻雀やカラオケ等で楽しみ、16日夜の宴会では、上島会長の挨拶、乾杯に始まり、カラオケでは熱唱にあわせ、踊りの披露もあり大変盛り上がりました。参加者の親睦を深めることもできました。

参加者からは大変楽しかった、また参加したい等のお言葉をたくさんいただくことが出来ました。17日11時頃に神楽支所に無事到着し、温泉湯治を終了しました。



北野支所年金友の会 秋の温泉保養

北野支所年金友の会（会長 山崎親友、会員数40名）は11月16日（木）に高砂台にある扇松園にて11名の参加により秋の温泉保養を開催しました。

当日は秋晴れとなり、参加した会員の方々は、施設の庭園の紅葉を眺めながら温泉や食事をゆっくりと楽しみ、日頃の疲れを癒しました。



JAあさひかわ女性部1日バス研修を開催

令和5年11月21日（火）に、JAあさひかわ女性部の1日バス研修が北広島方面にて開催され、各支所女性部から51名が参加しました。コロナ禍により、4年ぶりの開催となるため、顔を合わせるのが久しぶりの部員も多く、元気な声と笑顔が溢れていました。

バス2台で北広島に向かい、エスコンフィールド北海道に到着。少しの自由時間の後、スタジアムツアーに参加し、普段見ることができない裏側を見学。選手のベンチや監督の席に座ったりして楽しみました。クボタアグリフロントの視察では、最新の技術を見て驚きながらも、農業について考える良い機会となりました。

大変充実した1日となり、来年以降も全支所合同での研修を計画できたら良いねと話しながら、終了となりました。



永山年金友の会 温泉湯治

永山年金友の会（会長・佐藤佳明 会員59名）は、11月14日（火）から17日（金）まで3泊4日の日程で22名の参加により、大雪山 白金観光ホテルにて秋の温泉湯治を行いました。

日頃の疲れを温泉で癒し、日中はビンゴゲームやカーリンコン等を行いました。カーリンコン大会では白熱した試合が繰り広げられ汗を流しました。夜は宴会を行いカラオケ等を披露し大いに盛り上がりました。

4年ぶりの3泊の開催となった温泉湯治は、一様に楽しい時間を過ごし有意義な温泉湯治となり無事帰路に着きました。



安心! 便利! 役立つ! JA共済アプリのご案内

みなさんとJA共済がワンタッチでつながる。もしものときの連絡もアプリから! 日々の暮らしに役立つ、健康や防災などに関するコンテンツも満載!

ダウンロードはこちら!

App Store | Google Play

JA共済

こんなとき、JA共済アプリが役立ち!!

- 1 契約内容をWebマイページにワンタッチアクセス! ご自身の契約内容をすぐに確認できます。
- 2 JAにすぐに相談したいなあ。ご契約されているJA支店を自動表示。気になることがあれば、すぐに連絡ができます。
- 3 事故にあった。どうしよう…。いそぐまの事故連絡もアプリから。レッカーやロードサービスも手配できます。
- 4 入院・手術共済金が支払われるか知りたいなあ。手術名等の入力内容から共済金の支払自費が確認できます。Webマイページ登録があれば、そのままJAに共済金請求の連絡ができます。

登録手順はコチラ!

① ダウンロード QRコードを読み込み、JA共済アプリをダウンロード。

② JA共済IDを新規登録

③ ログイン

JA共済IDの新規登録をタップします。

登録済みのJA共済IDとパスワードを入力してログインをタップします。

※QRコードは(株)エフコープの登録用です。

JA共済

アプリのダウンロードはこちら

App Store

Google Play

Webマイページのご登録で、もっと安心!もっと便利に!!

安心 **Webマイページ** **便利**

メールでお知らせ
ご契約が成立するとメールが届いて安心!

契約内容の確認
24時間365日
いつでもどこでも
契約内容を確認できる

各種ご案内のWeb送付
管理がしやすい
ご案内書類を
スッキリ整理

振替口座の変更
共済掛金の引き落とし
口座の変更もWeb上!

各種Web手続き
住所の変更や、
自動車共済の
継続手続きもWeb上!

払込証明書の
データ発行
年末調整・確定申告に
利用できる控除証明
データを取得できる

Webマイページにご登録いただくと、
くらしを豊かにするメールマガジンが
毎月届く!!

メルマガ限定のプレゼントや
特別コンテンツを配信!

2つのプロジェクトで、みなさまの
豊かな生活づくりをサポート
していきます。

げんきなカタダプロジェクト
みなさまの健康増進、げんきなカタダづくりをサポートするプロジェクトです。
一緒にげんきなカタダを作りましょう。

あんしんくらしプロジェクト
みなさまの安全安心な暮らしをサポートするプロジェクトです。
一緒に身近な災害やリスクに備えましょう。

専用ホームページでは、健康増進や
防災・減災等のサービスのご案内、各種
イベントのご案内、お役立ち情報などを
掲載しています。ぜひご覧ください!

詳しくは
コチラ

234 890 0039

とびくす

JAあさひかわの
気になるニュース

JAあさひかわ稲作協議会役員 道外視察研修会を実施

12月5日（火）から3日間、JAあさひかわ稲作協議会役員道外視察研修会を実施しました。
道外大手米卸業者である、幸南食糧(株)（大阪府）・(株)エフコープライスセンター（福岡県）を訪し、今後の需要拡大に向けて産地評価の向上を図るべく、豊富な付加価値栽培米のラインアップなどJAあさひかわ米の強みについてPRし、当協議会の役員と活発な意見交換を行いました。

令和5年産米の取り引き内容

幸南食糧(株)	YES!clean	ゆめぴりか	8,500俵	※上川RT施設調整玉
	有機JAS	ゆめぴりか	50俵	
	有機JAS	ななつぼし	50俵	
(株)エフコープ・ライスセンター	きらら397	4,250俵	※上川RT施設調整玉	



幸南食糧(株)との意見交換



(株)エフコープライスセンターとの意見交換



(株)エフコープライスセンター精米工場視察

理事会だより

第10回 理事会

令和5年10月30日(月)

決議事項

- 1 役員選任等の日程について
- 2 令和5年度9月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 3 理事に対する貸付について
- 4 令和5年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策及び令和6年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策(案)について
- 5 規程類の一部変更について

報告事項

- 1 内部監査の実施報告について
- 2 農家経営対策組合員の令和5年度第3四半期実績について
- 3 営農企画部・購買部の営業時間変更について
- 4 旭川市に対する令和6年度農業施策に関する要望について
- 5 TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- 6 賃貸住宅資金に係る未保全の状況について
- 7 令和5年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- 8 融資要項の一部改正について
- 9 令和5年度金融支援策を踏まえた当組合の対応について
- 10 上川中央部5JA合併検討委員会について
- 11 組合員加入及び脱退の状況について
- 12 人事異動について
- 13 その他

第11回 理事会

令和5年11月29日(水)

監査報告

- 第3・四半期定期監事監査の報告について

不祥事再発防止策報告

- 農業協同組合経営体質強化指導事業に係る重点監視農協の指定解除について

決議事項

- 1 令和5年度10月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 2 法人貸付について
- 3 組合員懇談会の開催について
- 4 年末手当の支給について
- 5 規程類の一部変更について
- 6 組合員の出資金持分の減口、及び譲渡について

報告事項

- 1 内部監査の実施報告について
- 2 理事に対する貸付報告について
- 3 融資要項の制定について
- 4 行政庁の「マネロン及びテロ資金供与対策に関するアンケート」について
- 5 疑わしい取引の届出にかかる第3四半期定期報告について
- 6 反社会的勢力排除対応管理先にかかる対応状況報告について
- 7 信用事業及び共済事業における相談・苦情等(令和5年度上半期)の報告について
- 8 上川中央部5JA合併検討委員会について
- 9 令和5年度第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 10 子法人等9月末事業実績について
- 11 規程類の一部変更について
- 12 組合員加入及び脱退の状況について
- 13 年末年始の営業時間について
- 14 人事異動について
- 15 その他

異動

❖ 退職

日付	資格名	氏名	所属
11/30	審査役	千葉 雅俊	内部監査室審査役

❖ 採用

日付	資格名	氏名	所属
12/1	準職員	千葉 雅俊	内部監査室係(定年退職者再雇用)

お悔やみ 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

10/1	樫野 孝	さん	旭正地区旭正いぶき農事組合
10/8	伊藤 貞	さん	永山地区8区2組農事組合
10/17	滝川 祐治	さん	旭正地区旭正10農事組合
10/19	坪崎 幸一	さん	永山地区13区農事組合
10/23	瀬戸 利光	さん	旭正地区旭正いぶき農事組合
10/26	鳥海 勉	さん	永山地区14区農事組合
11/4	金子 和夫	さん	旭川中央地区親交農事組合
11/5	井上 タメ	さん	旭正地区忠別6農事組合
11/6	竹田 カネノ	さん	永山地区11区農事組合
11/16	青井 省二	さん	北野地区その他農事組合



(令和5年11月末実績)

概要

組合員数	正組合員	1,553 名
	准組合員	17,395 名
	合 計	18,948 名
出 資 金 残 高		2,116 百万円
販 売 取 扱 高		4,021 百万円
生 産 資 材 供 給 高		1,322 百万円
給 油 所 供 給 高		1,345 百万円
生 活 供 給 高		72 百万円
貯 金 残 高		98,034 百万円
融 資 残 高		26,086 百万円
長 期 共 済 保 有 高		1,419 億円

監事会・監事監査の報告

監事会

- 第10回監事会 令和5年10月30日開催
- 第11回監事会 令和5年11月27日開催

監事監査

- 1.随時監査
令和5年10月に管理部、農産物直売課、購買課、燃料課、江丹別支所、6金融支所、西神居事業支所、4資材センター、4給油所を実施
- 2.第3・四半期監事監査
令和5年11月20日から27日までの5日間実施

*随時監査は、内部監査室と合同で実施しました。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り致します。今年は辰年です。組合員の皆様にとって力強い龍のようにパワー溢れる年になるよう、我々も頑張ってまいります。

いつもご愛読いただいている組合員の皆さまにはくれぐれも健康に留意され、豊穰の秋を迎えられますことを心よりお祈り申し上げます。農作業事故にもお気をつけください！
JA あさひかわ広報誌編集委員会



JAあさひかわの
気になるニュース

インボイスについて！ 今号ではよくある質問を掲載致します！

Q1 令和5年10月1日の段階で課税業者であれば自動的に適格請求書発行事業者になるのでしょうか。

A1 課税事業者であっても事業者登録番号の交付申請手続きが必要です

Q2 適格請求書発行事業者になった場合、販売時には必ずインボイスを発行しなければいけないのでしょうか。

A2 適格請求書発行事業者は、課税事業者である購入者から要求された場合のみ、インボイスの発行が義務になります。

なお、以下の場合にはインボイスの発行は不要です。

- 購入者が業者でない場合
- 購入者が免税事業者である場合
- 購入者が課税事業者であるがインボイスの発行を求めてこない場合

ただし、これらは販売時には判別できないため、適格請求書発行事業者はインボイスの発行ができる体制を整えておくことが必要です

Q3 簡易課税で仕入税額控除の計算をする場合も、インボイスが必要なのでしょうか。

A3 仕入税額控除をする際にインボイスが必要となるのは本則課税で計算する場合のみです。簡易課税で計算する場合にはインボイスは不要です。

Q4 適格請求書発行事業者は簡易課税を選択すると、インボイスを発行できなくなるのでしょうか。

A4 簡易課税を選択しても、適格請求書発行事業者はインボイスを発行することができます。

Q5 免税事業者で適格請求書発行事業者になることは考えていませんが、何か不利益はあるのでしょうか。

A5 インボイス制度のもとでは、買い手は適格請求書発行事業者以外の事業者との取引について仕入税額控除ができなくなりますので、免税事業者のままだと取引を敬遠されたり、価格等の条件面で不利になる可能性があります。ただし、販売先が消費者のみの場合やJAの委託販売を利用して農協特例の適用を受ける場合等はインボイス不要となりますので、将来的にどのような販路で農産物を販売したいのかよく検討したうえで、適格請求書発行事業者になるかどうかの判断が必要になります。

